

# 河童と座敷童子の 真実を紐解く



悲しすぎる真実とは...

千葉県野田市立清水台小学校

五年四組 倉持明奈

河童と座敷童子の真実を紐解く

倉持 明奈

# 目次

	まえがき	3
第一章	河童	5
	一. 河童とは	6
	二. 河童の呼び名分布	7
	三. 河童の悲しく切ない真実	8
	四. 遠野の河童の顔はなぜ赤い	11
第二章	座敷童子	12
	一. 座敷童子とは	13
	二. 座敷童子の呼び名	13
	三. 座敷童子の真実の迫る	14
第三章	口減らし	17
	一. 口減らしとは	18
	二. 全国口減らし(間引き)名称四	19
	三. 子返し(間引き)絵馬の分布四	20
	四. 子返し(間引き)絵馬	21
	・真言宗 豊山脈 徳満寺	21
	・時宗 岩松山 義国院 青蓮寺	23
	・真言宗 豊山脈 蓬萊山 弘誓院 福万寺	25
	・曹洞宗 松林山 大雄寺	27
	・堤台子育 延命地蔵尊	29
	五. 口減らしは子ども達だけで"はなかつた"	31
第四章	飢 饉	33
	一. 主な飢饉年表	34
	二. 飢饉の時の食べ物(救荒食物)	35
	三. 遠野 五百羅漢	36
第五章	守っ人	37
	一. カッパ淵の守っ人	38
	あとがき	39
	参考・引用文献リスト	43

## まえがき

「河童や座敷童子」を信じますか？

私は幼少の頃から漫画家水木しげる氏の「ゲゲゲの鬼太郎」や妖怪図鑑が大好きで、東北地方に行く事も多く河童や座敷童子に興味を持ちました。

そして小学一年生の時に家に有った柳田國男著「遠野物語」という本に出会ったのがきっかけで遠野通いが始まりました。

この「遠野物語」とは、明治の頃に岩手県遠野地方出身の佐々木喜善氏が遠野地方に伝わる民話、伝承など妖怪めいた話を語ったものを民俗学者の柳田國男先生が「収集筆記し、1910年(明治43年)に「遠野物語」として出版された本になります。

民話の里、日本のふる里と言われる岩手県遠野市へ通って今年で4年が過ぎ、最初は河童や座敷童子の恐さ見たさで遠野へ行き始めましたが、足を運ぶ度に色々な真実が分かって来ました。

今年4年間調べて来ました内容を集大成として作品にまとめました。前半は、河童や座敷童子について、後半は絵馬について調べたものも記載しました。

本作品は現代では考えられないような事実が含まれておりますが、それはかつて東日本を中心に日本の多くで長い時間行われてきた風習の真実です。

是日、ご一読下さい。



# 第一章 河童

川には川童多く住めり

猿ヶ石川ことに多し

(遠野物語五十五話より)

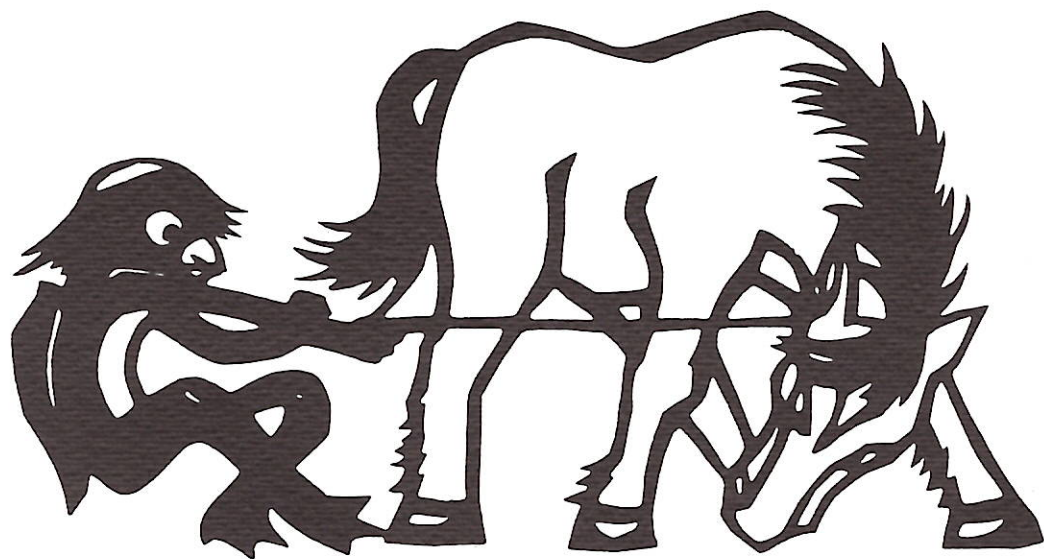
## 一. 河童とは

河童と言うと体は青緑色、頭に皿があり尖った口、背中に甲羅、手脚には水かきそんな姿を思い浮かべるのではないのでしょうか。河童とは妖怪説、水神説など諸説が有ります。妖怪説としては、河川の淵、沼地などの水界を住みかとし、人や家畜を水に引きずり込んだり、色々な悪さをするとされる妖怪の一種である。

一方で、河童は水神として祀られている神社も多い。

河童は相撲や胡瓜を好むのは、相撲は神事であり胡瓜などの初夏の野菜は水神信仰の対象となっていたと考えられる。

また川や池、沼などの淵に河童の絵の看板が有るのを見かける事がある。これは河童を恐る存在とし、水に近づく者は河童に水中へ引き込まれるなどとして、水の恐さ、水難事故の恐ろしさを伝え、事故を未然に防ぐ為であると言えたろう。



出典: 民俗曲家「きりえ遠野物語」  
遠野物語 58話 河童駒引きより

2025年8月11日 掲載承認済

# 二、河童の呼び名分布

北  
海  
道  
コマヒキ  
ミンツチ  
ミンツチカマイ

東  
北  
メドチ  
メドツ  
エンコ

北  
陸  
スイコ  
ミズシ  
スイジン

四  
国  
スイコ  
ミズシ  
スイジン

関  
東  
カッパユツウ  
カワタロウ  
カワテング

沖  
縄  
州  
イソボウズ  
ヨイヨイ  
アカカナヅヤ

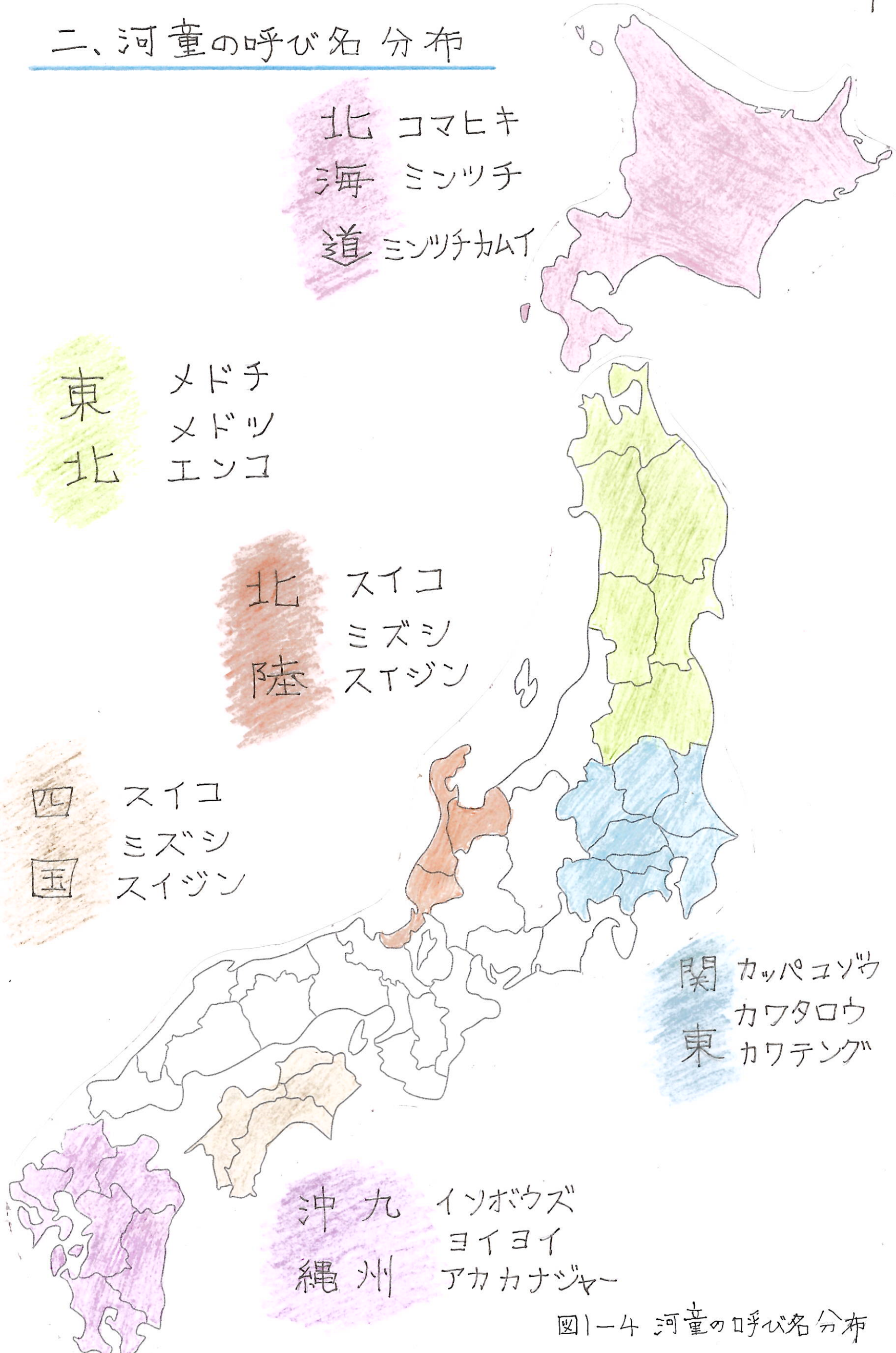


図1-4 河童の呼び名分布

### 三、河童の悲しく切ない真実



この河童の話、岩手県遠野市公認のカッパ淵の守っ人(まぶりっ)運萬治男さんより聞きたり。遠野守っ人は、次の時代に遠野の歴史の真実を伝えていく大切な役目を担い、遠野で「守っ人」と言えるのは運萬さんただ一人と云(い)えり。

またこの真実を包み隠す人少なからず

#### 図1-1.2

遠野にはカッパ淵と呼ばれるところが、確認されただけでも14ヶ所も有る。「人は何よりも命が大事。この命を守るものは何れ」と言ったら食べ物である。この食べ物を誰が作るんだと言ったらお天道様と水と年寄りの知恵の三つである。」その一つ、カッパを通して水の大切さ、水の恐さを教えている。

カッパは水の神と言いつたところが多いが、なぜ河童を「河(かわ)」の「童(わらし)」と書くのでしょうか。

これは、東日本特に東北地方の貧しい農民を度々襲った大飢饉に関係してくるんです。

岩手県遠野地方は標高が300メートルある北上山地の盆地。本土でも1位、2位を争う寒さの地でもある。



特に江戸時代そんな地で冷害や干ばつなどの自然災

#### 図1-1

「カッパ淵」 岩手県遠野市  
撮影日 2022.8.10

害の影響で凶作により収穫した作物が少なく家族全員で一冬を越せない場合はどうするのでしょうか。それは収穫した作物で冬を越せる分の口の数に人数調節するのです。

例えば、五人家族が一冬越すのに作物が四人分しかないとすると足りない一人分が口減らし(間引き)の対象となったのです。

働く事の出来ない若はテンテラノ(姥捨山)へ、嬰兒や幼児は親が我が子を殺めて川に流しました。また五体満足で生まれてくる事の出来なかった嬰兒も口減らしされ川に流されました。

川に流されたこの子どもたちこそが河童なのです。

嬰兒はお腹を圧迫したり、口を塞いだり、または口に濡れた和紙や布を乗せたりして殺めて川に流され、また歩ける様な子供は、小さな川に置いてきても自分で家に戻って来てしまうので、流れが早く深い淵の有る河原に連れて行き、「此からお前は河童さんの所へ行くんだよ、河童さんと同じように甲羅が出来れば、ご飯を食べなくても雷のよう万年生きられるから」 「あ、あの深い所にカッパさんが泳いでるのが見える。ほら、あそこ見てみる」と言って深い淵を子どもが覗き込もうとして頭が下がったところで河原に有る大きな石で、河童の如くお頭に頭が陥没するよう殴って殺めて川に流したそうです。

子供達に「川に近づくと、河童さんに水の中さ引き込まれるから」と言い川の恐さを教えると共に川に近づけさせなかった。

これは口減らしされた子が流れてくるからに他ならない。

「七歳までは神の内」とされ、我が子に手を掛けた親は、「神様の河童さんに子供を返す」と言って水の神にしたのです。

河童伝説は全国諸説あり、全てが同じではありませんが河童はなぜ「河(か)に童(わらし)」と書くかという点、口が減らしによってこの世を去った童達(わらしたち)を指し、水の神の河童(かっぱ)になったと言うことです。五体満足でも生きるのが大変だった時代これが五体満足でなかつたら育てる親も大変だけど子供はもっと大変でした。育てないと言ってもお腹を痛めた子供を五体満足ではないからと諦められる方法を見つけていた。

「オラ家の姉っこに大変なことが起きてしまった」

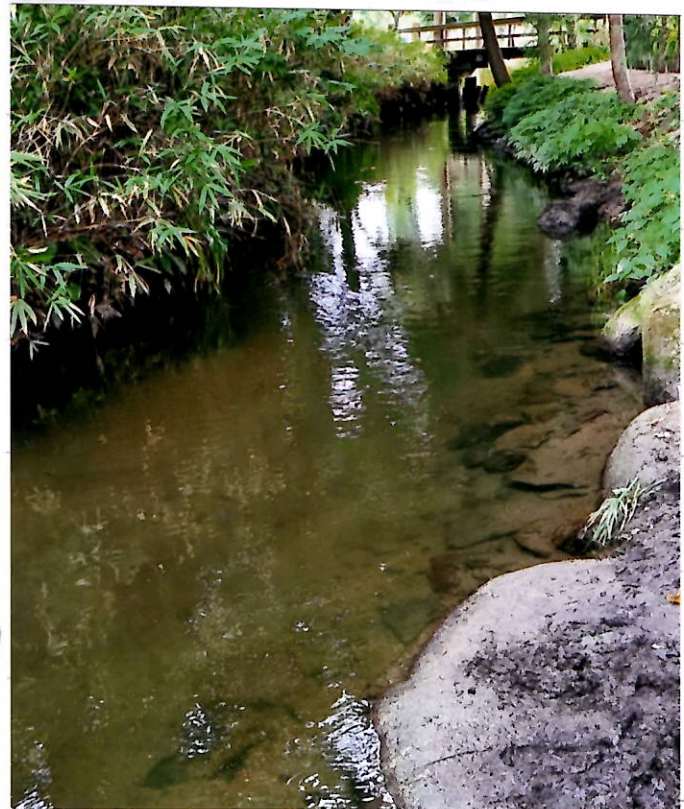
「河童の子を産んでしまった」と聞いたら皆五体満足ではないんだと周りの人達は思った。

「河童の子を産んだから早く河童さんに返しておわいをし、河童にバチが当てられないように許してもらい、今度は五体満足の子供を産めるから早く行って河童に返して来いよ」と言って貧しい子供たちは、川に住む河童に子供を返したのです。



図1-2

「カッパ淵」岩手県遠野市  
撮影日 2025.8.9



#### 四、遠野の河童の顔はなぜ赤い

この私の作品の表紙に河童がいるのにお気づきでしょうか。  
全国的に青緑色をした河童が多い中で赤い顔の小さな河童が描いてあります。これは岩手県遠野地方の顔の赤い河童を描きました。なぜ顔が赤いのでしょうか。

##### 図1-3

遠野の河童は酒好きで酔っ払って赤い顔でいるという説もありますが、実際は前項「三、河童の悲しく切ない真実」で述べた口減らしにより川に連れてこられた嬰兒や幼児が顔を真っ赤にして泣き叫んだ姿や、または水の神河童に幼児を返す時に、子供の頭に河童と同じ皿を作ると言って河原の石で頭が皿状にくぼむまで殴った時に染まった血の色が、赤い顔の河童になったと言われています。

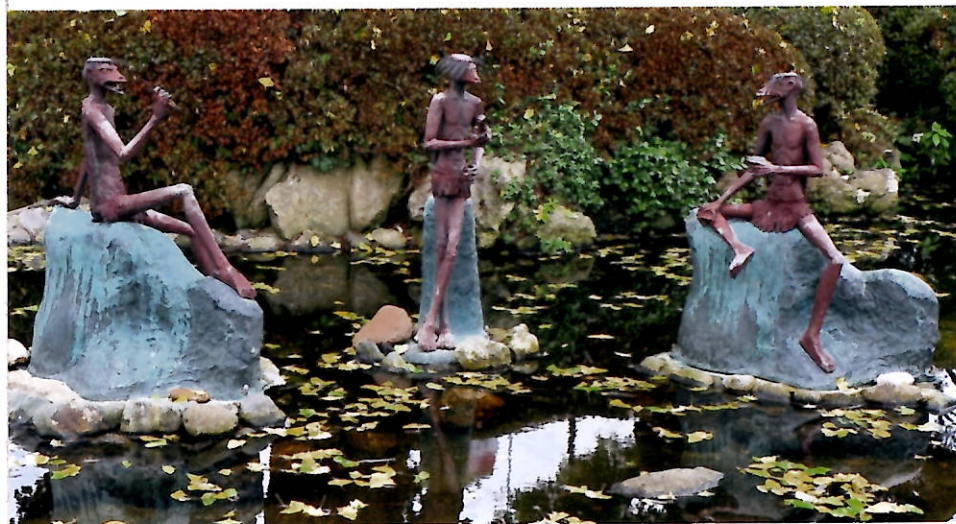


図1-3

「赤い河童」 岩手県遠野市

撮影日 2021.8.13

# 第二章

## 童子敷座

旧家にはザシキワラシといふ神の

住みたまふ家少なからず

(遠野物語 十七話より)



出典 浪宿 曲り家  
 「きりえ 遠野物語」  
 「遠野物語 17話 ザシキワラシ」より  
 2025年8月11日掲載承認済

## 一 座敷童子とは

図2-1

岩手県や青森県南部(南部藩)を中心に旧家の奥座敷に住み、子どもの姿をした神霊や精霊または妖怪とも言われています。

足音や物音をたてたり、いたずらをしたりするが、家を守り幸運をもたらすとされています。

座敷童子の正体は神霊や精霊なのか、妖怪なのか、または全く違うものなのか...?

## 二、座敷童子の呼び名

「座敷童子」は、東北地方を中心に主に岩手・青森・秋田などに多くの伝承が残されている。呼び名も座敷童子を主体に各地でいろいろな名で呼ばれている。

座敷童子 / 座敷ぼっこ / 蔵ぼっこ / 部屋ぼっこ / 唐子わらし / 二階わらし / 米搗わらし / 座敷ぼっこ / 座敷もっこ / ノタバッコ / 白負い子 / などがある呼び名とされている。



撮影日 2025.8.9  
遠野ふるさと村「南部曲り家」

岩手県遠野市 2025.8.9

図2-1

### 三、座敷童子の真実に迫る



この座敷童子の話もまた遠野守人の運萬治男さんより聞きたり。  
これもまた真実を語りんとする人多からず。

河童は貧しい家に生まれた子供だったが長者の家でも五体満足ではない子供が生まれました。何でそうゆう子供が生まれたかと言うと昔、長者は長老同士で結婚をくり返し血筋が濃くなるから、生まれてくる子供に障害が出る確率が高かった。

長者の家で、五体満足でない子供が生まれた時は「天狗の子が生まれた」と言った。天狗は鼻が大きくて、普通の人と違うから五体満足ではないと分かった。「天狗の子が生まれたから早く山へ返して来いよ」と言って「山」に返すがこの「山」とはお寺を指している。どのお寺も〇〇山 〇〇寺とお寺の名前には「山」が付く。

その山に連れて行くと言うことはその子は育てないという事になる。

お寺に連れていけば和尚さんがちゃんと供養してくれるが供養してもらいからは撫しをしなくてはならないが貧しい人はそのカすらなく河童に子供を返した。しかし、長者は「早く山に連れて行けよ」と言われてもお腹を痛めて産んだ子だからこそ簡単に山には連れて行く事が出来なかった。

母親は「今夜だけ一諸に寝かせてほしい、夜が明けたら山へ連れて行くから」と言うが朝になれば、「あと一回だけ子供に乳を飲ませてあげたい。そしたら暗くなるまでには連れて行くから」と言って1日が2日、2日が3日と

経ち、山に返せなくなってしまう。

図2-2

そして家の奥の部屋にある誰も行かない部屋に閉じ込めてしまったのが

「座敷童子」の始まりである。それでも何年も陽に当たらないから長生きは出来なかららしい。わざとそうしたのじゃなくそれしか方法がなかった。わが子を人に見せたくない、見せられないという思いから困ってしまったのが「座敷童子」なんです。

昔話で「言うと座敷童子が来ると長者になる、出て行くと貧乏になるという話が有るが民話では違うみたいだ。」

座敷童子は長者だからこそ置ける、貧乏な人の家では座敷童子にはならなかった。

また貧しい農民たちは、薄々長者のところで外に出せないような子が生まれた事を気付いていても、本当の事を言ってしまうと凶作など困った時に長者に助けってもらえなくなるから貧しい農民たちは「あの長者様のところには座敷童子が住んでいるから大変栄えてるんだ」と言う事にしたそうです。正しく「長いもの(者)には巻かれよ」とはこの事で、何か有未時に長者に助けをもらう為にも長者に逆らわない事が良いとされた。長者の家は座敷童子が住み、屋敷が栄えているという事にしたので。

図2-3

遠野市土淵町の曹洞宗蓮山峯山常堅寺でも、昔は本堂奥の暗闇の中に地藏菩薩様があり、誰がお参りしているのか分からないような暗闇の中で口減らしを行った親たちがそっと手を合わせました。

しかし現在のご住職が仏に手を合わせるのに、暗闇の中でこそと手を合わせる事はしなくて良いと、堂々とお参り出来るよう、明るいうちに地蔵堂を建立しました。



陽の当たらない真っ暗な部屋に  
困われた子ども達が座敷童子と  
なった。



図2-2 伝承園「曲の家内部」

岩手県遠野市

撮影日 2025. 8. 11



写真の左側に見える  
小さな建物が地藏堂  
です。

図2-3 「常堅寺 本堂と地藏堂(左側)」

岩手県遠野市

撮影日 2025. 7. 17

# 第三章

## 口減らし

昔は六十を超えたる老人は

すべてこの蓮台野へ

追ひやるの習ひありき

(遠野物語三話より)

## 一、口減らしとは

凶作などにより食べ物が少なく貧しい家では、家族皆で冬を乗り切る事が出来ないと判断した時に、食べ物の量に合わせて口の数(人数)の調整を行わなければならなかったのです。嬰兒や幼児は口減らしの対象となり親が子を殺める事が行われてきました。

また、貧しい家では健常者ですら生きていくのがやっとな時代、障害を持って生まれた子は計り知れない苦勞することになることになり、口減らしの対象となったのです。

特に江戸時代、飢饉などの時に口減らしは多く行われました。口減らしを間引きとも言う。



### 三、子返し(間引き)絵馬の分布図

間引きの存在と文字以外の形で示しているものに絵がある。  
 具体的な手段まで示しているのが「間引き絵馬」と呼ばれる  
 ものである。関東から南東北にかけて間引き絵馬は多く分布  
 しており「間引きは、東日本に多い」とする考えも出来る。

特に絵馬の奉納者が農林の住民に多く、しかも上層階級や知識  
 人ではない平凡な人々たちによって奉納された。

またその他の地方には間引きはあってもそれを絵にしたものはない。



図3-2 子返し(間引き)絵馬分布図

「間引きと水子」千葉徳雨大津忠男共著  
 著者作成

## 四、子返し(間引き)絵馬

真言宗豊山脈 徳満寺

所在地 茨城県北相馬郡利根町布川3004

図3-3は徳満寺所蔵の子返し(間引き)絵馬です。  
奉納時期は不明であるがお寺さんにお伺いしたところ  
江戸末期頃ではないかと言うことでした。

生まれたばかりの嬰兒の母親が鉢巻をしめて嬰兒を抑えつけ、  
押し殺している姿だが障子にはその母親の影絵が映り頭か  
ら角が生え鬼の姿に描かれています。

その側には地藏菩薩様が立って泣いています。

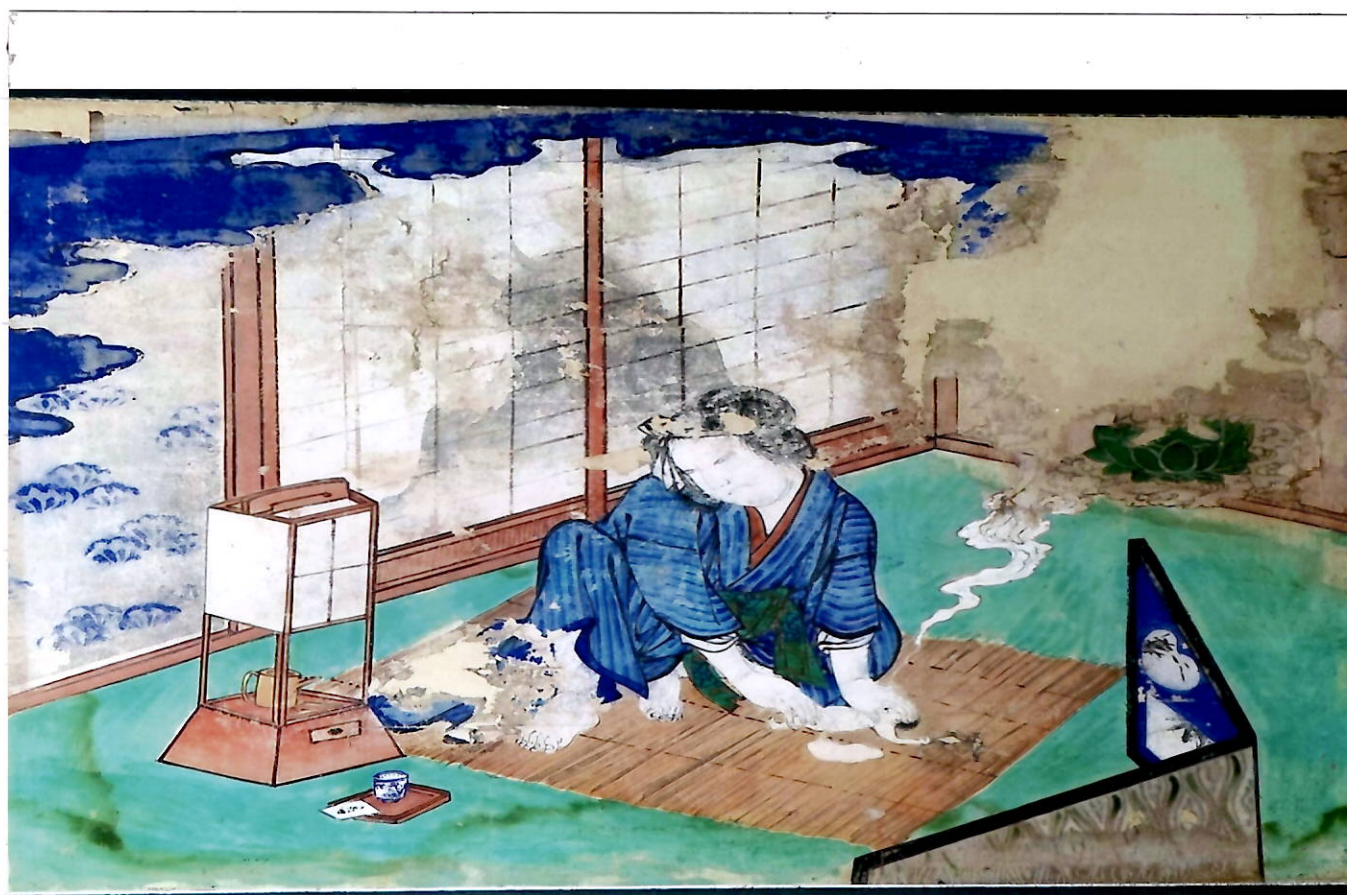


図3-3

「徳満寺子返し(間引き)絵馬」 茨城県利根町  
撮影日 2025.7.21 絵馬撮影及び掲載承認済

明治の頃まで、この一帯の農村の貧困とそれを一層悲惨なものにした飢饉や水災害により当時多く行なわれていた間引きの悪習を奉納された絵馬です。天明の大飢饉では下総・布川(現・茨城県利根町)のあたりでも村人304人のうち60人前後も餓死したという記録が残されています。

図の3-4の日本民俗学の祖、柳田國男先生が明治二十年代の初め13才の時に現在の利根川布川で2年間過ごしました。

その時にこの絵馬を見て強い衝撃を受け、後に日本民俗学を、志ざす動機となった絵馬です。

この種の絵馬は利根川筋ではそちらこちらに見られたが、昭和の初め、警察がこのような絵を公衆の前に出しておくには問題があると言う事で処分したところが多かった。

徳満寺では一時絵馬の紙をはがして本堂の額裏にたたんで隠しておいたそうです。

絵馬は当時寺地蔵堂の軒下にあつたが

風雨によって損傷し、現在は本堂に移されて

います。昭和52年、利根町文化財保護条例等

4条の規定により利根町指定有形文化財に

指定されています。



図3-4  
「柳田國男」岩手県遠野市  
撮影日 2025.8.9

# 時宗 岩松山義国院青蓮寺

所在地 群馬県太田市岩松町609

図3-5は、青蓮寺子返し(間引き)絵馬です。1833年(天保4年)に始まった天保の大飢饉は、1835年(天保6年)から1837年(天保8年)にかけて大規模化し1839年(天保10年)まで続きました。

江戸三大飢饉の一つに数えられるこの飢饉は東北地方から北関東地方にかけて甚大な被害が発生し、全国の餓死や疫病死を合わせると20万~30万人に達したと記録されています。

飢饉により、農村が困きゅうし、当時の幕府財政も苦しくなり、年貢の取り立てが厳しくなりました。農民の生活は更に苦しくなり、墮胎(だたい)、口減らし(間引き)、捨て子が増加しました。

図3-5のこの口減らし(間引き)絵馬には、産婦が嬰兒のお腹を押して圧殺してる姿が描かれその産婦の頭上には産婦を操る様にも見える鬼の姿が描かれている口減らし(間引き)を戒める絵馬です。



図3-5 「青蓮寺間引き絵馬」  
出典:絵馬所有者青蓮寺(群馬県太田市)  
画像提供者  
群馬県太田市教育委員会文化財課

奉納が天保15年甲午とあり、今から181年前(1844年)の絵馬です。

奉納者の他にこの絵馬を描いた画師の名前が確認出来ます。

色も鮮やかに残っており色があせることも少なく歴史、民俗学的資料としてとても貴重なものです。

群馬県太田市指定重要有形民俗文化財のこの絵馬は、群馬県太田市立新田荘歴史資料館(太田市世良田町3113-9)に寄宅されており、現在一般公開はされておられません。

図3-5の画像は青蓮寺ご住職より画像掲載についてご快諾頂き、太田市教育委員会文化財課様に画像掲載の承認頂き画像を借用しております。

真言宗豊山派蓬萊山弘誓院福万寺

所在地 千葉県柏市柳戸 612

図3-6 は弘誓院福万寺の子返しの絵馬です。

産婦が嬰兒の口を塞ぎ、尻を押して殺す姿とその左上には、産婦と同じ姿勢をしていた鬼が嬰兒を殺す姿が描かれています。絵のたい余白には一面間引きを戒める図3-7.8.9「子孫繁昌手引草」※に書かれています。

1847年(弘化4年)泉村の染谷伊兵衛ら14人が、西国糺父坂東百観音巡拝を成就した記念に弘誓院に奉納されたものです。間引きを戒める絵馬ではあるが江戸に近く手賀沼の水産資源に恵まれ、この辺りは昔から私所巡りが盛んたほど生活が豊かだったので真引き行為が常態化していたとは考えにくいです。

図3-6

「弘誓院福万寺  
子返し(間引き)絵馬  
千葉県柏市

撮影日 2025. 8. 23  
写真撮影及び  
掲載承認者



# 図3の7.8.9は弘誓院福万寺の子返し(間引き)絵馬の

余白部分に書かれた「子孫繁昌手引草」です。

## 子孫繁昌手引草

田舎にて者所二寄り貧乏人に子供多き者身代のかせなりとて、産落したる時口を塞ぎ尻を押ひて殺し、又者産め先に飲薬さし薬にて流すを子返しといふ、切々いたはしき事也、いかにむこひ親なれハとて吾子を瓜茄子漬すよふに心得て、可愛とも思ふぬハ余なり、他人を殺してに解死人に成ものを増して可愛からぬハならぬ子を親が殺、遅しハやし其親ひなくて済まや、是か其親ひとてしらせがないから罪も親ひもなしと思ふは愚也、子供が多くて貧乏ものあれども是者生れ付にて、子ゆへに貧乏するに非ず、子供が身上のやせに成るものならハ、子なきものハ金持に成善なれども、夫婦事しや吾人ものにも貧乏の有るをみて貧ほうハ子供の有無に寄る事合点すへし、子供か身代の邪魔にならぬ訳者、羊を種れハ親羊の廻りに子羊か身を出せとも子羊が親羊の邪魔にならて、子いも多けれハ返つて親羊もふとる成、親いものやせに成速子羊をかけ者、其かけ口より廣り親羊のいたみ成也、人間もその通にて子供が多くても其子か面々福分持て生るゆへに、少しも親のかせにハ成ぬ也、親令ハ子いもそれく、に親がはひてこやしを吸ゆへ、親羊のかせにならぬ如し、子返しすれハ、その子の恨にて家災難多く親の身上悪しく成也、身代のために子返ししてかへりて身代悪くするハ愚なる事ならずや、都子供多ハ目出度事にて家繁昌之基也、多くの子の中に者能子が立身して善に親を養ひ美福居といわゆるハ世間に間々有る事なり、よしや子故に難養するとも難儀とおもハすして子育が親たるもの心なり、雉子者玉子をぬくめて居る時俄に野火が

図3-7

焼来れハ、あへて一度逃去ども、脚見捨てすにまた巢に返り遂に焼死るとゆへり、焼野の雉子と者此事なり、人間まして雉子の情けに及ハぬ者淺間敷事ならずや、また鷄者腹にはへたる羽か子をぬくめる邪摩になる故、玉子をうめハ羽根を喰抜暖也、又昔子を孕たる犬の腹を射破れたれ者通行其破口ハ犬ころがこぼれ落るを親犬立返り悲しげに是を、  
口に加、  
え其、  
腹をやぶられて死する今の時迄も子を不便がる有様を見て射殺たる人前非を悔み、  
虎狼牛馬も親が子を殺すためしなし惣して畜生ハ子に養るるにも、あらず跡を離るるにもあらねども、親と成りて者、是非とも子を、憐む善のものなりまして万物の靈、たる人間が、鳥口だにせぬ子返しするハ余り情な口となり子返しするもの人りに而あれハ、其村の不言也、近所隣親縁者友連杯に早く異見して、止さすへし、老人の子返し、

図3-8

堂塔建立せし奇も  
大き成功徳、堂塔者金銀有れば、建とも人の命者金銀に而買るるものに非ず、若また、五人口人(十力)異見して止、誠になき、大善根也右の訳能合点して人にも異見し、自身も慎むへし、若し今まで、子返ししたる覺あらハ、深ク其罪を詫言、すべし、捨置ハ其怨靈の、業りにて色々の災難ありて、終に家断絶し後生は地獄の責を受へし、安しき事者諸方之寺、  
念頃に教誡し王ふかとふかく所希也、  
西国、  
秩父百堂願拜諸願成就、  
坂東、  
千時弘化四未年十一月吉日

図3-9

撮影日  
2025. 8. 23  
千葉県野田市  
柳戸6/2  
写真撮影反心  
掲載承認済

曹洞宗 松林山大雄寺

所在地 宮城県本吉郡南三陸町志津川

田尻町 10-1

図3-10

この間引き絵馬は、大雄子観音堂入口に掲げられている。  
この絵馬は1864年(元治元年)に住職が奉納したことが  
墨書きされています。



図3-10 「大雄寺間引き絵馬」 撮影日 2025.8.8 宮城県多賀城市

複製 東北歴史博物館にて展示 写真撮影及び掲載承認済

産婦の頭には角が生え鬼の姿となり、嬰児をむさで押さえつけながら首を絞めて殺す産婦の姿が描かれています。

上部には観音様の姿があり、間引きを見て涙を流されています。

余白には文字がビッシリと書かれています。文字が薄くなり消えている箇所も多く判読は難しいですが絵馬奉納者の住職は、

間引きは人道に反する罪悪であること、鳥や獣でさえ親ともなれば

一命を賭して我が子を守ろうとするのに我が子の命を親  
が故意に絶つというのは心得違いであるという内容が書かれて  
います。

# 堤台子育延命地蔵尊

所在地

千葉県野田市堤台261

図3-11 は私の家から程近い所に有ります子育延命地蔵尊の間引き絵馬になります。私の住む町にもこう言う間引き絵馬が有ったのには少しおどろきました。

絵馬堂にはたくさんの絵馬が奉納され壁にかけて一際大きな絵馬で目を引くのが図3-11の間引き絵馬になります。間引き風習に対する人道的な観点から間引きを戒めるため絵馬として1863年(文久3年)に奉納されたものです。

産屋内にはわら束を背に当てた産産体勢の産婦が描かれ、力を込めた両うでの下からは衝立越しに赤子の手足が覗いている。その傍らには寝そべり子を舐める描や行灯、薬缶がのった火鉢や



図3-11 「堤台子育延命地蔵尊間引き絵馬」

千葉県野田市堤台

撮影日 2025.8.24 写真撮影及び掲載承認済

炭桶といった当時の生産習俗をうかがう調度品なども描かれ  
手前には紅葉も見えます。産屋の外には地藏菩薩が赤子の  
手を引き天界に導こうとする様子が描かれています。

絵馬は横板3枚に着色 寸法縦63cm、横122cmあります。  
野田市指定有形民俗文化財です。

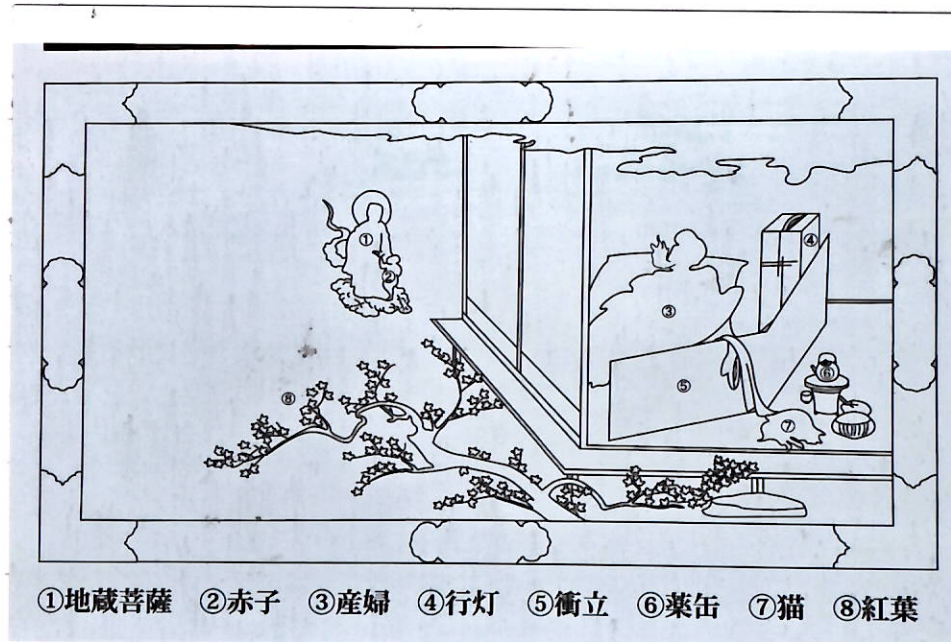


図 3-12 「堤台子育延命地藏尊間引き絵馬

説明図」

千葉県野田市堤台

撮影日 2025.8.24

野田市教育委員会 解説板より

## 五、口減らしは子供達だけではなかった

### 図3-13

姥捨山(うばすてやま)を、遠野地方ではデンドラノと言う。

遠野で飢饉などにより一番厳しい時は8人家族で2人しか生き延びられなかった。残りの6人は命を使って2人を守らなければならなかった。年寄りの場合、「デンドラノ」に上がると言い、極楽浄土に行きたいけれどまた命があるから行くことが出来なかった。



図3-13

「ハカアガリ」岩手県遠野市  
撮影日 2025.8.13

### 図3-14

命というのは、自分のものではなく両親から寿命を添えて頂かっているものでその命を無駄にしたら地獄に落ちるという教えの中で自分で死ぬ事は出来ず、デンドラノに上がり沢水を飲み、木の



皮をかじって生きられるだけ生きた。食べ物もなく生きるにも限度があり、デンドラノは余生を送る場所だった。

撮影日 2025.8.13

図3-14 「橋を渡るとデンドラノ」 岩手県遠野市

図3-15 そして「親の与えた寿命が来た」と言ってお息を引き取る場所だった。そして子供達だけではなく年寄り達も自ら命を犠牲にして若い者の命を守って来ました。

だからデンテラノに上がる年寄りや働けなくなった大人達

一番下は嬰兒や幼児達が皆そうやって命を使った。

一番歳が若くすぐ働ける人達は春になったら田畑で働く専が出来るとその若者達に残った少しの食べ物を託して、年寄りや嬰兒や幼児達は身を引いて命を絶ちました。



図3-15「あかりの家」 岩手県遠野市  
撮影日 2025.8.13

# 第四章

飢 饉

# 主な飢饉年表

西暦	和暦	飢饉名	被害中心地	将軍	
1642 ～ 1643	寛永19 寛永20	寛永の大飢饉	全国 特に 東日本日本海側	徳川家光	大雨・洪水・干ばつ・霜 中害
1691 ～ 1695	元禄4 元禄8	元禄の飢饉	東北	徳川綱吉	夏でも寒く小袖を着用 夏に霜が降った
1732	享保11	享保の大飢饉	中国・四国九州 西日本	徳川吉宗	
1753 ～ 1757	宝暦3 宝暦7	宝暦の飢饉	東北	徳川家重	東北地方は天明や天保 の飢饉よりも被害が大き いところもあり逆世最大級の 飢饉の一つ目とされている
1782  1789	天明2  天明7	天明の大飢饉	全国 特に東北	徳川家治	日本の近世では最大の 飢饉 天明3年浅間山噴火 により翌年からさらに深 刻な飢饉状態となった 夏に綿入れを着るほどの 冷害となった
1833  1839	天保4  天保10	天保の大飢饉	全国 特に東北	徳川家春 1834年  徳川家慶 1837年	1833年から1838年の 6年間で125万2000 も人口が減少した。 江戸三大飢饉の一つ

享保・天明・天保の大飢饉を「江戸三大飢饉」という。  
また、天明の大飢饉は最大規模の飢饉であった。  
東北地方では宝暦の飢饉で甚大な被害があり  
宝暦・天明・天保の飢饉を三大飢饉としている  
天明・天保の飢饉より被害が大ききところもあった。

## 二. 飢饉の時の食べ物 (救荒食物)<sup>きゅうこう</sup>

雑穀類などの粉にさまざまな物を混ぜて量を増やし食べをしのいだ。

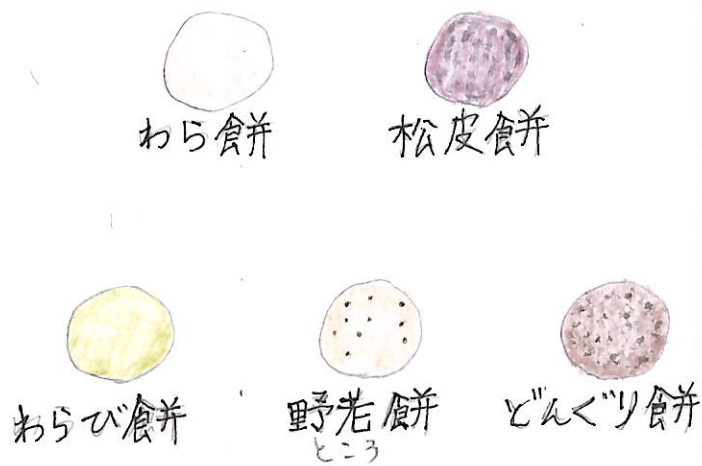


図4-1 「飢饉の時の食べ物」  
宮城県多賀城市 東北歴史博物館  
撮影日 2025.8.8 写真撮影 塚本 啓

図4-1

ねら餅 (ねらを使った餅)

天明3年現在の東大和市域では「勘定所よりねら餅で飢饉を切り抜けとお触れが来ました。

松皮餅 赤松の木の内皮を煮て着色料として餅に混ぜたもの。

ねらび餅 根から取れるデンプンで餅を作った。

野老餅<sub>ところ</sub> ヤマイモによく似た食物で「有毒だ」が、長時間煮て毒抜きをして食べた。

どんぐり餅 何度も水をかえて煮て、あく抜きをして餅に混ぜた。

### 三. 遠野五百羅漢

今よりも平均気温が3度も低かった江戸時代、高冷地の遠野はしばしば凶作に見舞われました。1755年(宝歴5年)洪水に加え大凶作、悪疫が大流行し、南部藩全体で餓死6万余人、死馬2万頭を超えました。(その時の人口の20%に値する)翌年もその影響を受け、遠野領内だけでも餓死2500人、死馬2000頭にのぼり、以後も不作、凶作が相次ぎ、大慈寺19代義山和尚が餓死者供養のため1781~1789)天明年間にも大小500の自然石に五百羅漢の姿を彫りました。図4-2・3は義山和尚が自然石に彫った五百羅漢です。長い年月により今では苔むして羅漢様は見えずらくなっていますが写真に写る石1つ1つに羅漢様が彫られています。



図4-2 岩に彫られた羅漢様  
岩手県遠野市 2024.8.17

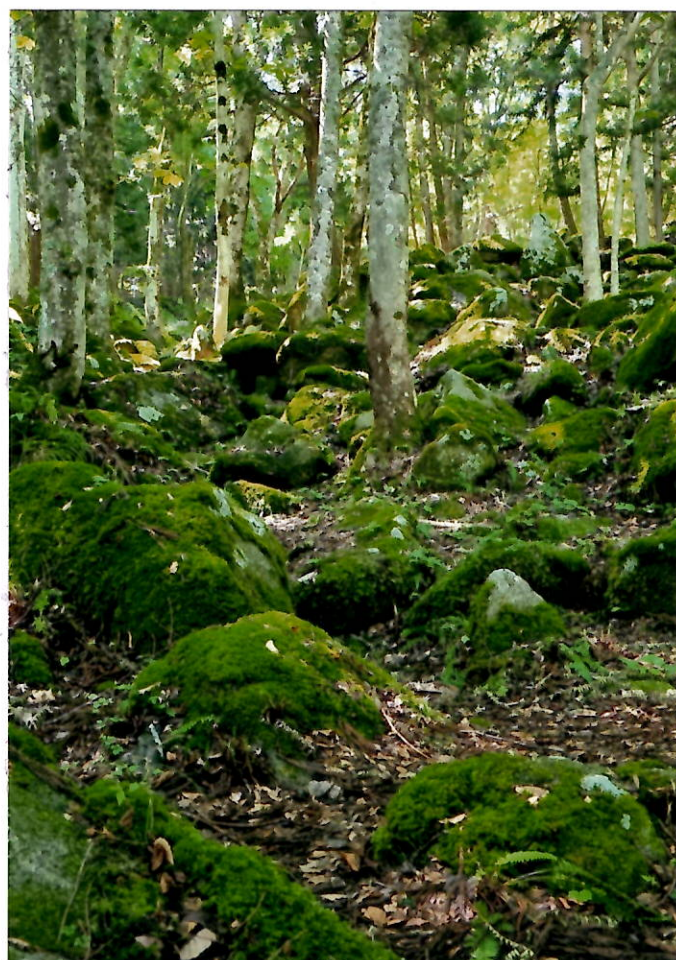


図4-3 五百羅漢全体  
岩手県遠野市 2024.8.17

# 第五章

守人

## 一、カッパ淵の守り人(まぶりと)

二代目カッパおじさんこと、カッパ淵の守り人運萬治男さんです。運萬さんは、遠野市公認の守り人(まぶりと)として遠野の民話を伝えている。例えば「同じ「河童」の民話を語るにも、本当はとても厳しい辛い話になるので、「カッパ淵に来た子と」もたちには、胡瓜でカッパ釣りを楽しんでもらいながら「カッパ」という言葉を大人になっても忘れないで欲しいと言う。



図5-1  
運萬治男さんと私

そして、物事の分別が出来る年齢になり再びカッパ淵を訪れてくれた時にこの作品で書いたように遠野三大民話である「河童」や「座敷童子」、「おしらさま」の民話を聞かせるそうです。

運萬さんは、更に「民話と昔話は違う。

読み書きがで「きない、貧しい子や孫にほんとか今よりいい生活をさせたいと

願い、教訓を口伝いに教えてきたものが民話の原点」だと。

今回、私が運萬さんから「河童や座敷童子」の実話を聞かせて頂きましたが、私が4年に渡り「河童と座敷童子」の研究をして「ロ減らし」についてもある程度研究して知職が有ったと言うことで、10歳で「したか」両親立会いの元特別にお話して頂きました。

## あとがき

調べる学習コンクールは今年で3回目の挑戦です。

今年のテーマは「河童や座敷童子の真実を紐解く」です。

毎年岩手県遠野市を訪れ4年に渡り「河童や座敷童子」をはじめ  
民話について調べて来ました。そして河童と

座敷童子の真実に辿り着き作品にして  
発表をしたいと思いました。

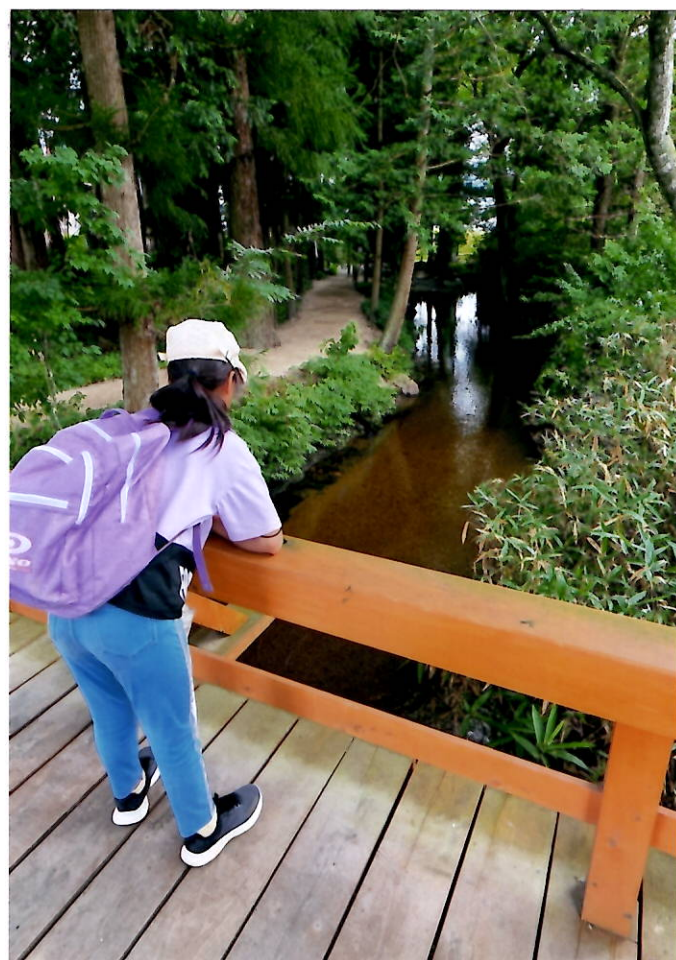
しかし、真実を知って私は河童や座敷童子の  
ことをどこまで書き上げれば良いのか、どんな  
作品にしたら良いのかとても迷いました。

それは現代では想像も出来ない様な「口  
減らし」というとても厳しい辛い話がたくさん  
あり、あれもこれも調べたままの事をそのまま  
書いても良いのだろうか大変迷いました。

でもある言葉が私の迷いを吹き飛ばし、ありのままの真実を調べたままの  
事実を書いて作品にしようと決心しました。

その言葉とは、「今は昔ではないのだから、今の人の考え方で、昔の人の行い  
を判断してはいけません」これは日本民俗学の祖と言われる柳田國男先生  
を恩師とする日本民俗学者の千葉徳爾(とくじ)先生が、恩師柳田國男  
先生からつねづね訓えられた言葉です。

ですから、私が良い悪いを判断するのではなく、作品は調べたままの  
事を書き上げました。





かつて東日本を中心に日本中で  
口減らし(間引き)は行われて  
いました。家族全員分の食べ物  
が足りない、このままいけば  
全員餓死してしまう、そんな中

何とかこの後世に自分たちの血を繋ぐためにと考えて抜いた結果が  
春になると田畑で"すぐ"に働いてまた子も産める若い大人たちを残し、子ども達や  
年寄りたちが身を引いてきた貧しい時代があったのは事実です。

この時はこの方法しかなかったのでしょう。現代では想像も出来ない  
辛いことです。私たちは毎日ご飯をお腹いっぱい食べれるところが、フードロス問題  
も発生し、令和5年度の国内フードロス量は合計464万トンになるそうです。  
世界中にはお腹を空かせている人々がたくさんいる、餓死してしまう人々  
がたくさんいます。苦しい時代を自分の命と引き換えに今の時代へ撃い  
てくれた人もいますので。私たちはこうゆう問題にも真剣に考えてなけ  
ればいけないと思います。

今年は、戦後80年と言うこともあり元海軍神風特別攻撃隊の磯野榮  
佐さん(97)さんの体験談を直接聞く事ができました。

また父の知人には、身内に海軍特攻隊がおり「回天(人間魚雷)」で敵  
艦に特攻した話を聞く事が出来、私にとって今年は特にいろいろな命の  
大切さを学んだ年になりました。

この作品を書くのにあたりたくさんの方々にお世話になりました。

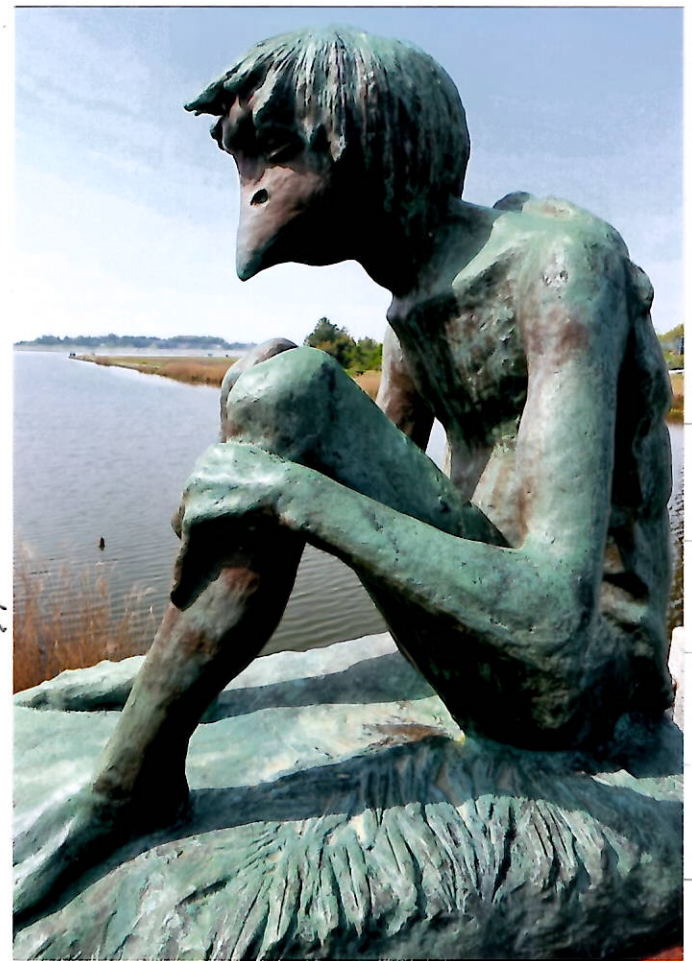
先ず、遠野の尾話をいっぱい語ってくれた「遠野語り部の会」副会長の

堀切さん、今年も堀切さんからたくさんの話を聞くつもりでいたのですが、昨年ご病気でお亡くなられたと今年の1月に矢張り、またお会いしてお話を聞けるのを楽しみに待っていたのでとても残念です。低い声で話、こくれた堀切さんの声をまた聞きたいです。たくさんの語りをありがとうございました。堀切さんのご冥福をお祈りにいたします。

そして、カッパ<sup>カッパ</sup>洲の守人運萬治男さん大変お世話になりました。カッパ、座敷童子の話はとても厳しい話だけど大丈夫かと念を押され、実際仰る通りとても悲しく辛い話でしたが、4年間言調心てきた事に結論を出すことが出来ました。今回自信を持った作品に仕上げました。あと、<sup>キウリ</sup>胡瓜をエサにしたカッパ<sup>カッパ</sup>金剣<sup>金剣</sup>楽しかったです。大切なお話ありがとうございました。また遠野へ行きます。待っていて下さい。

そして徳萬寺様、青蓮様、太田市教育委員会文化財課様、弘誓院様、堤台子育延命地藏尊様、この度は大変貴重な日本民俗学的資料の間引き絵馬の写真撮影にご協力頂き、また画像のご提供、資料のご提供の他、お忙しい中時間をさいて頂き丁寧な解説をして下さりありがとうございました。

また、関係施設の皆様、民宿の曲り家のしりい、作品作りにご協力頂きありがとうございました。



茨城県牛久沼の河童

そして今年もお父さん、お母さん、私の作品の為に長い時間  
たくさん協力をしてくれて、今年も遠野に1週間も滞在させて  
くれて本当にありがとう。

最後になりましたが、私の作品を読んで下さりました皆様  
本当にありがとうございました。

ごんごはれ

2025年8月31日

倉持 明奈

参考・引用文献リスト

倉持 明奈

NO.	著者名	書名	出版社	出版年	ページ	図書館名
1	細井計伊藤博幸 菅野文夫 鈴木宏	岩手県の歴史	(株)山川 出版社	1999年 8月17日	225 237	興風 図書館
2	大石 学	大江戸まるわかり事典	(株)時事 通信 出版局	2005年 7月10日	235 239	興風 図書館
3	山本博文	ビジュアルNIPPON江戸時代	(株) 小学館	2006年 11月10日	100 101	興風 図書館
4	水木しげる	妖怪道 五十三次	(株)YM ブックス	2006年 7月1日	22 74 90	興風 図書館
5	鈴木由利子	選ばれる命 子どもの誕生をめぐる民話	(株)臨川 書店	2021年 2月28日	42~46 105~110	遠野市立 図書館
6	千葉 徳爾 大津 忠男	間引きと水子 子育てのフォークロア人間選書67	農山漁 村文化 教会	1983年 1月1日	27~33 40~45 65~80	遠野市立 図書館
7	柳田國男	遠野物語	(株)KA DO KA WA	平成4年 5月10日	5~8 24~25 37~39	私物
8	影山明仁	遠野こだわりの語り部 堀切初奇譚	八日丁 劇場	2024年 12月25日	13~26	私物

NO	Web作成者	Webページ名	Webサイト名	更新 年月日	URL	アクセス 年月日
1	群馬県 太田市	青蓮寺の概要と 関連する指定 文化財一覧	太田市	2022年 12月6日	http://www.city.ota .gunma.jp/page/ 4527.html	2025年 7月21日
2	群馬県 太田市	青蓮寺の間引き絵馬	太田市	2022年 12月6日	http://www.city.ota. gunma.jp/page/ 4491.html	2025年 7月21日
3	座敷わらし の宿 緑風荘	座敷わらしの由来	座敷わらしの 宿 緑風荘	2016年	http://www.zashiki -warashi.co.jp/zasi kiwarashi.html	2021年 5月3日
4	二戸市 観光 協会	座敷わらし	いわての てっぺんJapanの 郷にのり	不明	http://www.ninobe-kan ko.com/kanko-spot/ 2191	2025年 2月3日
5	ABC パーク	口減らし	歴史人	不明	http://www.rekishijin .com/12896	2024年 12月15日
6	遠野 観光 協会	デンデラ野	遠野時間(社) 遠野観光 協会	不明	http://tonajikon.jp/ tourism/denderano/	2025年 7月5日

<p>参考施設</p>	<p>東北歴史博物館          伝承園(遠野市)          遠野市立博物館          遠野ふるさと村</p>
<p>参考史跡</p>	<p>岩手県遠野市 カッパ淵          岩手県遠野市 姥子淵          岩手県遠野市 太郎淵          岩手県遠野市 五百羅漢</p>
<p>協力</p>	<p>カッパ淵守人 運萬治男          (一社) 遠野市観光協会          岩松山義国院青蓮寺          群馬県太田市教育委員会文化財課          遠野市立図書館          真言宗豊山脈 徳萬寺          蓬萊山弘誓院福満寺          子育延命地藏尊          民宿曲り家 倉岡信弘</p>

教文第754号  
令和7年8月13日

千葉県野田市清水

倉持 様

太田市教育委員会  
教育長 江原 孝育



写真借用および掲載等承認書

令和7年8月8日付けで申請のありました 写真借用および掲載等 を、  
次のとおり承認します。

資料及び点数	太田市青蓮寺「間引き絵馬」画像 1点
使用目的	子どもが学習コンクール(小学生部門)にて使用したいため。 題名「河童と座敷童子」の真実を紐解く」
使用期間	令和7年8月8日(金)～令和8年3月31日(火)
その他	①資料提供者(所有者 太田市青蓮寺/画像提供者 太田市教育委員会)を明記する。 ②太田市青蓮寺及び太田市教育委員会に成果品(各1部計2部)を納品する。 ※表紙及び絵馬の画像がどのような目的で使用されているかが分かる範囲の写し ③他の目的で使用するときは改めて許可を得る。

〒370-0495  
群馬県太田市粕川町520  
太田市教育委員会 文化財課  
文化財保護係 担当 矢口  
TEL 0276-20-7090  
FAX 0276-52-6080